

運用実績

2026年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日＝10,000として指数化：月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 27,308円

※分配金控除後

純資産総額 86.4億円

- 信託設定日 2003年11月19日
- 信託期間 2028年11月20日まで
- 決算日 原則 11月18日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間 ファンド

1ヵ月 0.1%

3ヵ月 15.2%

6ヵ月 14.5%

1年 62.6%

3年 65.6%

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2025年11月 1,100円

2024年11月 700円

2023年11月 500円

2022年11月 950円

2021年11月 1,200円

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 450.0%

設定来累計 14,260円

設定来＝2003年11月19日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年7月31日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	86.8%
オランダ	4.2%
カナダ	2.0%
デンマーク	1.7%
フランス	0.8%
その他の国・地域	0.5%
その他の資産	4.0%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示しておりません。

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
日本・円	99.0%
その他の通貨	1.0%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年7月31日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
REVOLUTION MEDICINES INC	アメリカ	4.3%
ARGENX SE-ADR	オランダ	4.2%
INSMED INC	アメリカ	4.0%
BRIDGEBIO PHARMA INC	アメリカ	3.5%
ROIVANT SCIENCES LTD	アメリカ	3.4%
VERTEX PHARMACEUTICALS	アメリカ	3.4%
BIOGEN INC	アメリカ	3.1%
UNITED THERAPEUTICS CORP	アメリカ	3.1%
CYTOKINETICS INC	アメリカ	2.9%
AMGEN INC	アメリカ	2.9%
合計		34.8%

組入銘柄数：61銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



運用実績

2026年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日＝10,000として指数化：月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※

54,491円

※分配金控除後

純資産総額

249.4億円

騰落率

期間

ファンド

1ヵ月

-0.6%

3ヵ月

16.3%

6ヵ月

21.5%

1年

80.5%

3年

114.9%

- 信託設定日 2003年11月19日
- 信託期間 2028年11月20日まで
- 決算日 原則 11月18日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年11月	2,050 円
2024年11月	1,500 円
2023年11月	1,300 円
2022年11月	1,400 円
2021年11月	1,500 円

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来

1,033.2%

設定来累計

19,340 円

設定来＝2003年11月19日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年7月31日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
アメリカ	87.9%
オランダ	4.3%
カナダ	2.0%
デンマーク	1.7%
フランス	0.9%
その他の国・地域	0.5%
その他の資産	2.7%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示していません。

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
アメリカ・ドル	97.6%
日本・円	1.6%
ユーロ	0.9%
デンマーク・クローネ	0.0%
香港・ドル	0.0%
その他の通貨	0.0%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年7月31日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
REVOLUTION MEDICINES INC	アメリカ	4.4%
ARGENX SE-ADR	オランダ	4.3%
INSMED INC	アメリカ	4.0%
BRIDGEBIO PHARMA INC	アメリカ	3.5%
ROIVANT SCIENCES LTD	アメリカ	3.5%
VERTEX PHARMACEUTICALS	アメリカ	3.4%
BIOGEN INC	アメリカ	3.2%
UNITED THERAPEUTICS CORP	アメリカ	3.1%
CYTOKINETICS INC	アメリカ	3.0%
AMGEN INC	アメリカ	2.9%
合計		35.3%

組入銘柄数 : 61 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



ファンドは、ESG[※]を投資対象選定の主要な要素としており、「ファンドの特色」にその詳細を記載しています。

※ ESGとはEnvironment(環境)、Social(社会)及びCorporate Governance(企業統治)の総称です。

ファンドの特色

●信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

●世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象[※]とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

●世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。

■ファンドにおけるサステナブル投資■

ファンドでは、世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式への投資を通じて、高度なイノベーション技術を活用し人々の健康を支援する企業群へ投資を行ないます。また、同銘柄への投資比率は純資産総額の3分の2以上を維持することを基本とします。

* 原則として企業価値に占めるバイオテクノロジー関連ビジネスの事業価値の割合が50%以上の企業を投資対象とします。

■銘柄選択の視点■

- 「研究開発力と研究開発のリスク分散」：ユニークな製品／技術基盤を持ち、複数の研究開発プロジェクトを有する企業に注目します。
- 「強固な経営陣」：優れた科学技術と経営手腕(マーケティング戦略、特許戦略など)を有する強力な経営陣を持つ企業に注目します。
- 「健全な財務内容」：資金の調達状況など、企業の継続性を維持できる財務の健全性を有するか否かを確認します。

■スチュワードシップ方針■

ファンドでは、議決権行使とエンゲージメント(対話)を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株主利益を尊重した経営を行なうよう求めます。野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。

* ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント方針の詳細は、以下のサイト(「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」)内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針」にある「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン」の「スチュワードシップの方針はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

●株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

●Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。

●ファンドは「ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

●「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。

●マザーファンドの運用にあたっては、「ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド」、「ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイ」および「ピクテ・ジャパン株式会社」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

●原則、毎年11月18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、ESG投資に関するリスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2028年11月20日まで(2003年11月19日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則11月18日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。
ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。
なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＜スイッチング時＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年2.09%(税抜年1.90%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)
＜受付時間＞ 営業日の午前9時～午後5時
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞ **野村アセットマネジメント株式会社**

[ファンドの運用の指図を行なう者]

＜受託会社＞ **三井住友信託銀行株式会社**

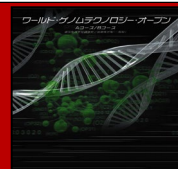
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



先月の投資環境

○米国株式市場は、上旬は6月の雇用統計が市場予想を下回り、早期利上げ観測が後退したことなどが好感され、上昇しました。中旬から下旬にかけては、6月のCPI(消費者物価指数)が市場予想を下回ったことなどが好感されたものの、米国とイランの軍事的な緊張が再度高まり始めたことや、AI関連の巨額投資の採算性への懸念が高まったことなどから下落しました。月末にかけては、一部大手クラウド関連企業の堅調な決算が好感されたことなどから上昇する場面もありましたが、月間ではほぼ変わらずとなりました。

○ナスダック・バイオテクノロジー株指数(配当込み・米ドルベース)の月間騰落率は0.14%の上昇となりました。バイオ医薬品企業をターゲットとしたM&A(企業の合併・買収)や新薬承認への期待の高まりなどから上旬は上昇しましたが、その後は、中東情勢の緊迫化やインフレ懸念などを背景に米国の長期金利が上昇したことが影響し、中小型銘柄を中心に下落基調となり、月間では小幅な上昇にとどまりました。

○個別では、米国の長期金利が上昇したことなどを背景とした中小型銘柄から大型銘柄への防御的な資金のシフトの恩恵を受け、アムジェンの株価が大きく上昇しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)騰落率は、Aコースが0.12%の上昇、Bコースは0.60%の下落となりました。

○組入上位銘柄のうち株価上昇率が大きかった主な銘柄は、ブリッジバイオ・ファーマ、アムジェンでした。

○月間の主な売買では、中枢神経系の単一遺伝子疾患を対象とした治療法の開発に注力する米国の医薬品会社の株式などを新規買い付けした一方、臨床期向け医薬品を手掛ける米国の製薬会社の株式の全売却を行ないました。

今後の運用方針(2026年7月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○バイオ医薬品株式市場では、かつては収益性の欠如が逆風となっていました。新薬を上市した中型のバイオ医薬品企業が高成長・高収益性で、セクター全体の利益水準の大幅な改善に貢献しています。この背景には、バイオ医薬品企業から良好な治験結果の発表が続いていることや、FDA(米国食品医薬品局)による新薬承認件数が過去数年と同程度の高水準で推移していることなどがあり、景気動向に左右されることなく画期的な新薬が開発されていることが挙げられます。さらにAIが、創薬の最適化、開発、臨床試験、患者層別化、規制プロセスといった領域で大きな効果をもたらし、最終的には、個別化医療に向けた大きな一歩となるとみています。加えて、2025年に回復したバイオ医薬品企業をターゲットとしたM&Aについても、大手の医薬品企業や大手のバイオ医薬品企業が大型治療薬の特許問題に直面し、パイプラインの強化が求められていることもあり、2026年も増加傾向の継続が期待されます。バリュエーション(投資価値評価)面では、バイオ医薬品セクターは、他のセクターと比較して割高感はなく、AI・テクノロジー関連からの分散を図る中で、イノベーション銘柄の一角として注目を集める可能性があると考えます。なお、地政学的リスクの動向、金利水準やマクロ環境の変動に伴い、バイオ医薬品株式はボラティリティ(価格変動性)が高まりやすい点には引き続き留意が必要です。また、薬価を巡る政策議論は今後も断続的に続くと思われるものの、過去10年と同様に、真に付加価値の高い治療薬への影響は限定的とみています。

○このような環境のなか、当ファンドでは高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズの重要度や、薬価および治療薬への患者のアクセスの妥当性などの要因について考慮することも必要です。また市場全体に対するバイオ医薬品株式のポジションは、依然としてアンダーウェイト(参考指数に比べ低めの投資比率)であると考えています。このようななか、当ファンドでは長期的な革新性が高く、強力な臨床データなどに裏付けられた比較的风险の小さい中小型銘柄に引き続き注目しています。これらの中には、今後10年で売上が数十億ドルに達する治療薬を生み出す銘柄も含まれていると考えます。引き続き、ボトムアップ・アプローチとファンダメンタルズ分析に加え、リスクを考慮したポートフォリオ構築を行なってまいります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身で判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

組入上位10銘柄の解説		2026年7月31日現在
組入銘柄	組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由	
1	レボリューション・メディシンズ	腫瘍学会社。増殖および生存経路の中で、これまで治療が難しかった分子ターゲットを抑制する新しい標的治療を発見する。世界各地で事業を展開。 全新規がん診断の30%を占めるとされるRAS依存性がんに焦点をあて、革新的で標的を絞った治療法の発見、開発、商業化を進めるバイオ医薬品企業であり、多くのがん患者に画期的な治療法を提供することで、社会に貢献することを目指している。現在、RAS(ON)阻害剤の複数のパイプラインの開発を進めており、良好な治験結果が得られていることから注目を集めている。
2	アルジェンX	バイオテクノロジー会社。深刻な自己免疫疾患およびがんを対象に抗体療法を開発する。オランダとベルギーで事業を展開。 特定の自己免疫疾患について、非常に効果的かつ忍容性の高い治療薬を提供することで、患者の生活の質を大幅に向上させている。同社の治療薬は競合品と比較して手頃な価格設定であることから、治療コストの抑制や多くの患者が治療を受けることを可能にしており、市場シェアの獲得や優れた成長の実現に寄与している。2021年にFDAに承認された重症筋無力症治療薬ビブガルトは順調に売上を伸ばしている。
3	インスメッド	バイオ医薬品メーカー。重度・希少疾病患者の生活発展・変換に従事する。米国ニュージャージー州で事業を展開。 完治が非常に難しく致命的となりうるマイコバクテリウム・アビウムコンプレックスによる肺非結核性抗酸菌症の治療薬を有している。標準治療よりも優れた治癒率を誇る同社の治療薬により、患者の生活の質と余命が大幅に改善するだけでなく、継続的な対症療法や医師・病院への通院にかかる費用を削減することに貢献している。また、同社は未だ満たされていない医療ニーズの高い感染症分野において重要な役割を果たしている。
4	ブリッジバイオ・ファーマ	バイオテクノロジー会社。遺伝性疾患のための医薬品の開発に注力する。世界各地で事業を展開。 遺伝的要因が明確な遺伝性疾患などの開発に注力するバイオ医薬品企業。治療薬を提供することで社会に貢献。同社は既に承認されている治療薬として、希少疾患であるモリブデン補酵素欠乏症A型の治療薬や、アミロイド心筋症(ATTR-CM)治療薬などを有しており、同社の進行性の希少疾患であるモリブデン補酵素欠乏症A型の治療薬は、死亡リスクを減少させることが適応とされる唯一の治療薬である。
5	ロイバント・サイエンシズ	バイオテクノロジー企業。同社は、間質性肺炎患に伴う肺高血圧症向けの革新的な医薬品および技術の発見、開発、商業化に注力する。世界中の顧客にサービスを提供。 複数の子会社を通じて自己免疫、炎症性、希少疾患などの医薬品を開発するバイオ医薬品企業。重症筋無力症などを対象とする抗FcRn抗体や皮膚科領域の新薬を開発し、再発や障害の抑制と医療現場の負担軽減を目指している。また、データ解析や治験最適化ツールを活用し、創薬・開発プロセスの効率化と成功確率の向上にも取り組んでいる。
6	バーテックス・ファーマシューティカルズ	医薬品メーカー。医薬品の発見、開発、商品化に従事する。のう胞性線維症、がん、炎症性腸疾患、自己免疫疾患、および神経疾患の治療薬を開発。世界各地で事業を展開。 のう胞性線維症(CF)の治療で高い実績を持つバイオ医薬品企業。のう胞性線維症治療薬を次々と上市することで、CF患者の生活の質を大きく改善し、更に治療や通院にかかる費用の削減にも貢献している。また鎌状赤血球症やβサラセミアなど依然として有効な治療法が限られる疾患に対しても、遺伝子編集技術などを活用した革新的な治療法を提供している。
7	バイオジェン	医薬品メーカー。多発性硬化症、非ホジキンリンパ腫、関節リウマチ、クローン病、乾せんなどの疾患向け製品を手掛ける。 神経学、腫瘍学、免疫学を中心とした新薬の開発、製造、販売に従事する。多発性硬化症、非ホジキンリンパ腫、関節リウマチ、クローン病、乾せんなどの疾患向け製品を手掛ける。
8	ユナイテッド・セラピューティクス	製薬会社。肺高血圧症や末しょう血管疾患などの血管疾患用治療薬を開発する。主要製品は、経口・皮下投与用の安定型合成プロスタサイクリン。 生命を脅かす肺血管疾患の患者に対して、生存率向上を目指した治療法や技術を開発、提供している。同社の治療薬であるリモデュリン、タイバソ、オレンイタラムは、肺動脈性高血圧症における運動能力と症状を改善し、患者の生活の質向上に寄与している。また子会社を通じて、移植の機会を増やすためにパイオエンジニアリングによる「人工肺」などの開発も推進している。
9	サイトカインエティックス	バイオ医薬品メーカー。臨床試験段階の医薬品の開発に従事。筋萎縮性側索硬化症、心不全、脊髄性筋萎縮症、および慢性閉塞性肺疾患の治療薬の開発を手掛ける。米国カリフォルニア州およびペンシルバニア州で事業を展開。 深い科学的知見に基づいた循環器系の治療薬開発に強みを持つバイオ医薬品企業。特に、心臓が血液を効率的に送り出す能力を阻害する遺伝性の疾患である肥大型心筋症がもたらす課題に取り組むことで患者の生活の質を改善し、社会に貢献。また同社はこの分野で最高水準の治療薬を提供しており、開発途中にあるパイプラインについてはより広範な患者に対して希望を提供している。
10	アムジェン	独立系バイオ医薬品メーカー。重症向けの治療薬の発見、開発、製造、および販売に従事する。治療法のほか、細胞生物学および分子生物学に基づいた新薬の開発に注力。 がん、骨粗しょう症、腎臓病、炎症など様々な疾患をターゲットとした医薬品の強力なポートフォリオを有しており、人々の健康で長生きする生活に貢献している。また経験豊富で大規模な研究開発チームを持ち、他のバイオテクノロジー企業や学術機関、政府機関との良好なパートナーシップを確立している。強力な医薬品ポートフォリオ、最高の研究開発能力、強力な製造およびサプライチェーン(供給網)能力、そして確立されたブランドが、同社の成長維持に貢献している。
(出所)「組入銘柄解説/ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由」は、ピクテからの情報提供等に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。 (注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。		

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)(ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にも帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース／Bコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。